

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで知ろう！取り組もう！「脱炭素社会」推進事業
事業主体 (連絡先)	飯田脱炭素社会推進協議会 事務局 飯田市環境モデル都市推進課
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	254,150 円 (うち支援金: 190,000 円)

事業内容

1 知ろう！脱炭素社会 新しい生活様式へ転換しよう！
 「2050年いいだゼロカーボンシティ宣言」記者発表来場者、
 「こどもエコ講座」の受講者のほか、協議会活動を通じ、「2050年ゼロカーボンシティいいだ」ロゴ入りのエコバッグ配布による普及啓発の実施。

2 取り組もう！脱炭素社会 エコライフを推進しよう！
 気候変動対策の未来を担う子供を対象に、気候変動の現状把握や、「蓄電式ソーラーカーづくり」を通じて気候変動緩和のための再生可能エネルギーの創出、活用を学ぶ環境学習プログラムを実施。
 協議会活動及び、協議会会員団体の活動をパネル展示により、エコライフの提案を実施。



【環境学習の様子】



【ソーラーカーづくりの様子】

事業効果

①知ろう！脱炭素社会 新しい生活様式へ転換しよう！
 <エコバッグ配布によるゼロカーボンシティ普及、啓発> 約150名 (新規事業)
 ・エコバッグ配布を通じ、2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにする意味、その必要性を理解したという声が多く聞かれたとともに、ゼロカーボンシティという言葉の浸透を実感した。
 ・配布したエコバッグを利用してもらうことで、プラスチック削減につながるほか、利用による二次的な普及啓発も期待できる。

②取り組もう！脱炭素社会 エコライフを推進しよう！
 <こどもエコ講座受講者数> 親子29組58名 (新規事業)
 ・子供からは、「おひさまの力で車を走らせることができるなんて初めて知った」「電力資源を大切にしようと思った」などの声がかかれ、気候変動対策の未来を担う子供たちへ効果的な環境学習を提供できた。
 ・大人からは、子供が興味を持つ形での講座として好評であった他、親としても勉強になったとの声が聞かれ、今後さらに親子での学習や取組に意欲が見られた。

【目標・ねらい】

- ①知ろう！脱炭素社会 新しい生活様式へ転換しよう！
- ②取り組もう！脱炭素社会 エコライフを推進しよう！

※自己評価【B】

【理由】
 ・脱炭素社会実現の必要性についての理解、「ゼロカーボンシティ」という言葉の浸透が進んだ。
 ・環境学習により、脱炭素社会実現へ取組、エコライフを推進する意欲向上がみられた。

今後の取り組み

令和3年度に開催が予定される「南信州環境フェア」などを通じ、様々な技術等を知る機会を提供し、脱炭素社会推進に向けた行動変容を促していく。
 継続的な環境学習プログラム実施により、一人ひとりの着実な取組によるエコライフ推進を図る。